学校通信
オオタカ
平成 29 年 2 月 1 日発行
知多市立旭北小学校
[発行者] 校長　河 合 康 博
旭北

◇「節分集会」 伝統行事について楽しく学びました　1/25（水）

集会委員会による節分の絵本の読み聞かせや、節分に関するお話を聞きました。

鬼に扮した教員や児童が持っているカードを並びかえて、節分に関する言葉をつくりました。

【節分集会の校長講話から一部抜粋】
「節分」は暦の上での季節の分かれ目である、立春、立夏、立秋、立冬のそれぞれの前日のことを指しますが、現在では一年の最初にやってくる立春の前日だけを「節分」と呼んでいます。
また、「鬼は外、福は内」と言いながら豆をまく風習がありますが、昔、地震や雷、台風などの自然現象や病気など、その当時の科学では解明することが難しかった現象を、人々は鬼の仕業だと考え、新しい季節を迎えるにあたり、こうした悪い鬼が近寄って来ないように「鬼は外」と大きな声で言いながら、豆をまいたそうです。
地域によっては、豆まき以外にも節分には多くの風習が今も残っています。科学が発展し、多くの現象が科学的に解明される時代となりましたが、今でも各家庭で「鬼は外、福は内」と豆をまくなど、昔ながらの伝統が続いているのは素敵なことだと思います。

◇「ペア活動」 遊びを通して異学年交流を目指します　1/26（木）～

本校では、１・６年、２・４年、３・５年を「ペア学年」と呼び、年度初めにそれぞれの学年の児童が１対１、ときには１対２でペアを組んでいます。この異学年のペアでいっしょに遊ぶ活動を児童会が主催しました。上級生が下級生を優しくリードする姿は、とても頼もしく、ほほえましく感じました。「ペア活動」は、学年の枠を越えた異学年交流の貴重な機会となっています。

◇ 第２回 学校評議員会　貴重なご意見をいただきました　1/24（火）

今回の学校評議委員会は、学校公開日に合わせて開催し、校内の児童の様子を見てもらいました。

年度初めに提案した「旭北小グランドデザイン」を振り返りながら意見交換を行いました。

学校評議員の皆様には、各種の学校行事にご出席いただいた折や、学校評議員会の中で、主に地域から見た学校の様子について、ご意見をいただいております。
今回は学校を一巡していただきながら、児童の様子や学校施設の実態を見ていただきました。今後も可能な限り、学校評議員会を学校公開日に合わせて設定し、児童や保護者、教員の様子など学校の実態を直接見ていただけるように計画していく予定です。

平成２８年度 学校評議員の皆様
・鈴木　善博　様
・青木　　明　様
・堀田亜由美　様

また、年度初めの学校評議員会でご意見をいただいた「旭北小グランドデザイン」について、振り返りのワークショップを行いました。今回のワークショップでいただいたご意見については、次年度の学校運営に生かしてまいります。（☞ 主なご意見は下の「校長室から」に掲載しました）
なお、本校の学校評議員の内訳は、民生委員から代表１名（任期２年）、前年度の旭北コミュニティ会長（任期１年）、前年度のＰＴＡ会長（任期１年）の３名となっております。次年度についても、主な学校行事と学校評議員会（年２回）の出席を依頼させていただく予定です。

校長室から

「挨拶について」
学校評議員の皆様から、共通していただいたご意見は、「何よりもまずは挨拶ができる児童を育ててほしい」でした。朝の立哨の折に、「挨拶が返ってこない子がいて心配になる」という話もありました。本校は「３つのあ（あいさつ、ありがとう、あつまり）」を生活の基本として大切に指導しているだけに、これは残念な姿です。
挨拶は頭ごなしに指導しても本物の挨拶にはなりません。もしかすると、挨拶ができないほどの悩みを抱え、沈んだ気持ちで歩いている児童もいるかもしれません。なぜ、挨拶ができないかを糸口にした個の指導も必要だと考えます。今一度、「３つのあ」について振り返り指導いたします。
その一方で、感心するくらいのすばらしい挨拶ができる児童もたくさんいます。朝の挨拶はもちろん、廊下ですれ違うたびに、きちんと立ち止まって「こんにちは」ときれいなお辞儀ができる児童がいます。元気よく、にこやかに「こんにちは」と言える児童もいます。こうした児童の姿が全校に広がっていくように指導していきたいと思います。
「挨拶の手本は大人から」と言われます。まずは教員が手本を示しながら、明るい元気な挨拶ができるよう努めてまいります。ご家庭においても挨拶ができるよう応援してください。